



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長 (氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,011	9.9	439	—	387	—	215	—
25年3月期第3四半期	11,844	6.9	△21	—	△76	—	△15	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 213百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	10.06	9.89
25年3月期第3四半期	△0.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,750	5,262	38.2
25年3月期	13,927	5,049	36.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,256百万円 25年3月期 5,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	2.0	400	115.1	310	31.9	200	△34.6	9.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	21,504,347 株	25年3月期	21,504,347 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	111,937 株	25年3月期	111,437 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	21,392,608 株	25年3月期3Q	21,394,879 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府・日銀一体となった財政・金融政策等により円安・株高が進行した結果、輸出の伸びと個人消費の改善等の後押しを受けながら緩やかな回復がみられました。また、2020年の東京オリンピック招致が決定し、中長期的にも景気浮上を後押しするものと期待されておりますが、一方、円安に伴う原材料・エネルギー価格の上昇や消費税増税、海外の景気減速懸念等もあり、先行きは引き続き不透明感が残る状況であります。

外食業界におきましても、個人消費が改善の兆しを見せておりますが、一方で、原材料・エネルギー価格が上昇する等、経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループの主力である焼き肉業界は、景況感の回復により既存店動向は総じて好調を維持しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高130億11百万円（対前年同期比9.9%増）、営業利益4億39百万円（前年同期は21百万円の損失）、経常利益3億87百万円（前年同期は76百万円の損失）、四半期純利益2億15百万円（前年同期は15百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は199店舗であります。内訳は直営160店舗、暖簾5店舗、FC34店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「スポーツ家族応援フェア」、「生ビール&焼肉スクラッチフェア」、「元気いっぱい“ごちそうさま!”フェア」、「年末お疲れさまクーポン」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや新感覚スイーツ!「冬のほっこりホットクフェア」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は110億83百万円（対前年同期比10.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は7億17百万円（対前年同期比138.4%増）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、FC2店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「春のお祝い祭り」、「初夏の行楽焼肉フェア」、「生ビールチャレンジ祭」、「美酒焼肉フェア」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアや和風スイーツ等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は14億77百万円（対前年同期比7.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億24百万円（対前年同期比50.9%増）となりました。

③ その他業態

当第3四半期連結累計期間に暖簾1店舗を直営化し、直営1店舗を閉鎖した結果、その他業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は15店舗であります。内訳は直営8店舗、暖簾1店舗、FC6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「楽コンセプト（焼肉）」、「まんぼく（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「AGRICOCO（イタリアンカフェ）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は4億50百万円（対前年同期比2.4%増）となり、セグメント損失（営業損失）は19百万円（前年同期はセグメント損失41百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円減少し、137億50百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減価償却等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ3億89百万円減少し、84億88百万円となりました。これは主に、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ2億12百万円増加し、52億62百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,349,391	1,297,459
受取手形及び売掛金	349,778	320,729
商品及び製品	99,118	175,921
仕掛品	877	1,618
原材料及び貯蔵品	230,831	396,930
前払費用	202,822	203,731
繰延税金資産	78,741	35,450
その他	175,260	139,418
流動資産合計	2,486,822	2,571,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,399,785	2,233,411
機械装置及び運搬具(純額)	17,193	21,815
工具、器具及び備品(純額)	180,193	162,296
土地	5,627,685	5,627,685
リース資産(純額)	20,393	23,373
建設仮勘定	—	902
有形固定資産合計	8,245,251	8,069,485
無形固定資産		
投資その他の資産	103,027	105,886
投資有価証券	82,914	82,871
長期貸付金	883,532	846,806
長期前払費用	23,188	28,515
繰延税金資産	10,065	26,775
敷金及び保証金	2,765,966	2,701,959
その他	63,935	53,551
貸倒引当金	△736,772	△736,171
投資その他の資産合計	3,092,830	3,004,309
固定資産合計	11,441,109	11,179,680
資産合計	13,927,931	13,750,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	526,125	641,544
短期借入金	6,145,601	5,724,396
リース債務	8,875	11,553
割賦未払金	6,961	2,794
未払金	249,297	192,913
設備関係未払金	19,092	16,043
未払費用	495,523	500,940
未払法人税等	123,561	62,955
未払消費税等	94,716	90,169
賞与引当金	64,124	44,540
転貸損失引当金	3,217	3,217
その他	497,673	527,741
流動負債合計	8,234,770	7,818,811
固定負債		
長期借入金	—	9,998
リース債務	21,901	22,610
長期割賦未払金	389	3,645
繰延税金負債	116,278	117,815
退職給付引当金	133,637	134,082
役員退職慰労引当金	270,791	280,811
転貸損失引当金	28,149	25,737
その他	72,034	74,534
固定負債合計	643,180	669,234
負債合計	8,877,951	8,488,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	△602,977	△387,706
自己株式	△67,273	△67,469
株主資本合計	5,049,395	5,264,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,116	△7,795
その他の包括利益累計額合計	△6,116	△7,795
新株予約権	6,700	6,220
純資産合計	5,049,979	5,262,895
負債純資産合計	13,927,931	13,750,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,844,181	13,011,569
売上原価	4,378,865	4,692,057
売上総利益	7,465,316	8,319,511
販売費及び一般管理費	7,486,848	7,880,377
営業利益又は営業損失(△)	△21,532	439,134
営業外収益		
受取利息	25,392	24,501
受取配当金	1,570	1,695
受取地代家賃	8,340	8,165
貸倒引当金戻入額	476	511
その他	37,869	32,665
営業外収益合計	73,650	67,538
営業外費用		
支払利息	119,733	109,097
その他	8,720	10,067
営業外費用合計	128,454	119,165
経常利益又は経常損失(△)	△76,336	387,508
特別利益		
固定資産売却益	1,079	—
投資有価証券売却益	—	0
受取補償金	251,912	—
特別利益合計	252,992	0
特別損失		
固定資産除却損	69	1,756
減損損失	123,095	10,264
賃貸借契約解約損	5,972	30,074
特別損失合計	129,137	42,095
税金等調整前四半期純利益	47,518	345,412
法人税、住民税及び事業税	60,846	103,559
法人税等調整額	1,992	26,581
法人税等合計	62,839	130,140
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,320	215,271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,320	215,271

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,320	215,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	△1,679
その他の包括利益合計	361	△1,679
四半期包括利益	△14,959	213,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,959	213,592

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,034,640	1,369,332	440,209	11,844,181	11,844,181	—	11,844,181
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,034,640	1,369,332	440,209	11,844,181	11,844,181	—	11,844,181
セグメント利益又は 損失(△)	301,117	82,824	△41,448	342,493	342,493	△364,025	△21,532

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては99,579千円であります。

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては23,516千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,083,222	1,477,607	450,740	13,011,569	13,011,569	—	13,011,569
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,083,222	1,477,607	450,740	13,011,569	13,011,569	—	13,011,569
セグメント利益又は 損失(△)	717,806	124,985	△19,508	823,284	823,284	△384,149	439,134

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては10,264千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。